

平成28年3月期 第3四半期決算説明資料

2016年2月



[単体]

◆当第3四半期は、増収減益

経常収益	837億円	(前年同期間比	+ 4.7%)
経常利益	302億円	(同	△1.5%)
純利益	201億円	(同	+ 2.5%)

◆ATM総利用件数は前年同期間累計比 +5.4%

預貯金金融機関取引……………	同	+5.1%
ノンバンク取引……………	同	+8.9%

[連結]

◆当第3四半期は、増収減益

経常収益 909億円、純利益 192億円 * 連結は親会社株主に帰属する四半期純利益

[配当政策]

◆期末配当予想を従来の4.0円から4.5円(年間8.5円)に修正

《 セブン銀行単体 》

(単位:億円)

	2014年度 第3四半期	2015年度 第3四半期	前年差異	2015年度 計画 (11月6日時点)
経常収益	799	837	38	1,111
経常費用	492	535	43	715
経常利益	306	302	△4	395
純利益	196	201	5	263

《 連結 》

(単位:億円)

	2014年度 第3四半期	2015年度 第3四半期	前年差異	2015年度 計画 (11月6日時点)
経常収益	860	909	49	1,203
経常費用	562	619	57	825
経常利益	298	289	△9	377
純利益	187	192	5	251

注1) 計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 前年差異は億円単位で比較

注3) 連結損益の為替レート

:1米ドル

2014年度第3四半期実績=102.93円、2015年度第3四半期実績=120.98円

2015年度計画=118.00円

:100インドネシアルピア

2014年度第3四半期実績=0.879円、2015年度第3四半期実績=0.912円

2015年度計画=0.900円

注4) 連結の純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益

《 参考:各社連結対象期間 》

セブン銀行	2015年4月1日	~	2015年12月31日
FCTI	2015年1月1日	~	2015年9月30日
ATMi	2015年1月1日	~	2015年9月30日
BBF	2015年4月1日	~	2015年12月31日

(単位:億円)

	2014年度 第3四半期	2015年度 第3四半期	前年差異	2015年度 計画 <small>(2015年11月6日公表)</small>
経常収益	799	837	38	1,111
うちATM受入手数料	750	777	27	1,026
経常費用	492	535	43	715
うち営業経費	376	407	31	544
経常利益	306	302	△4	395
特別損益	△1	△1	0	△1
法人税等合計	109	99	△10	130
純利益	196	201	5	263
EBITDA	416	432	16	570
期末ATM設置台数(台)	20,616	22,018	1,402	22,400
平均利用件数(件/台/日)	102.4	100.7	△1.7	99.1
総利用件数(百万件)	564	595	31	785

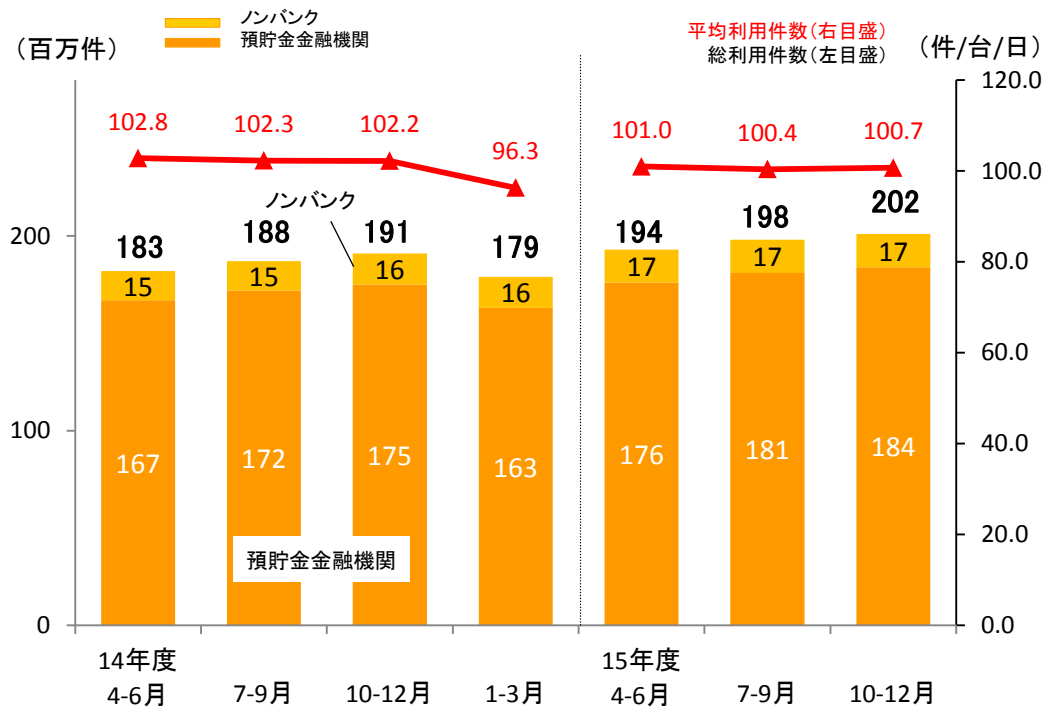
注1) 計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 前年差異は億円単位(総利用件数は百万件単位)で比較

注3) EBITDA=経常利益+減価償却費

ATM事業の状況(単体)

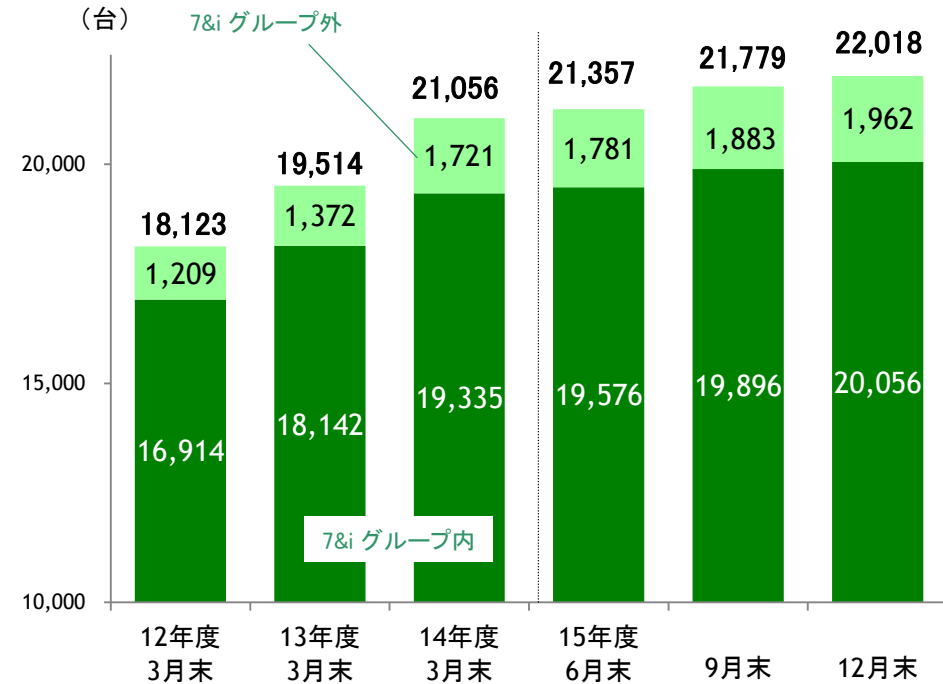
利用件数の推移



注1) 平均利用件数、総利用件数は残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず
 注2) 計数は全て表示単位未満切捨て
 注3) 本資料におけるノンバンクは、海外発行カード、証券会社、生命保険会社、クレジット会社、信販会社、消費者金融会社等の合計

- ・設置台数の堅調な増加に伴い、総利用件数が伸長
- ・堅調な消費者金融に加え、海外発行カードがドライバーとなり、ノンバンク利用も増加

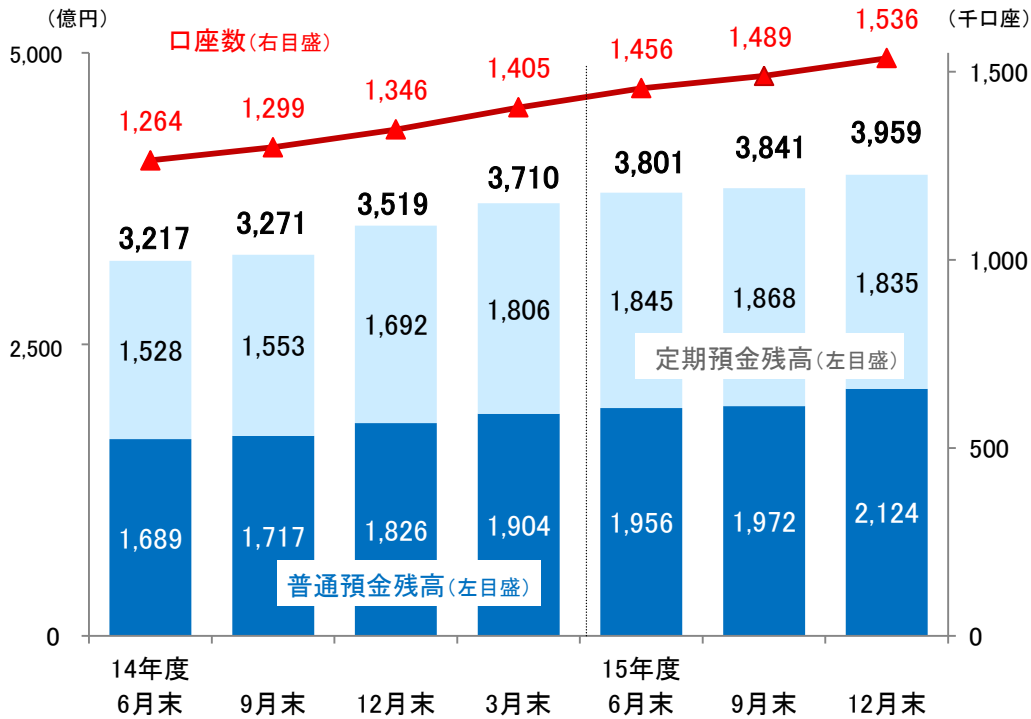
ATM台数の推移



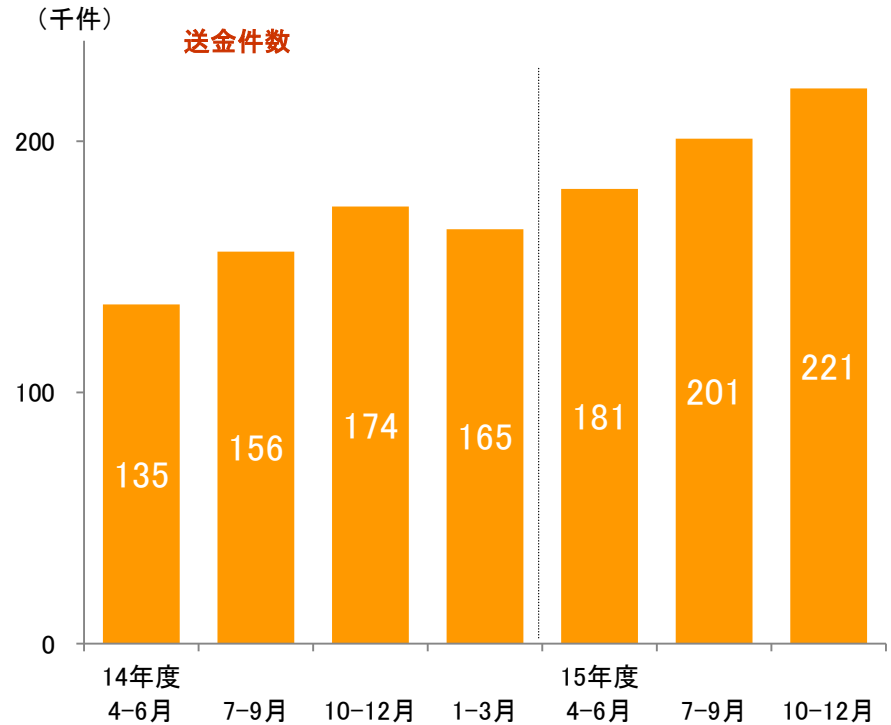
- ・セブン-イレブンの新規出店を中心に、グループ内店舗への設置が順調に増加
- ・グループ外は、交通・観光・流通等の施設に設置を推進

口座関連の状況(単体)

セブン銀行預金(個人)の状況



海外送金サービスの状況



個人向けローンサービスの状況

(単位: 億円)

	2015年3月末	2015年12月末
ローン残高	104	151

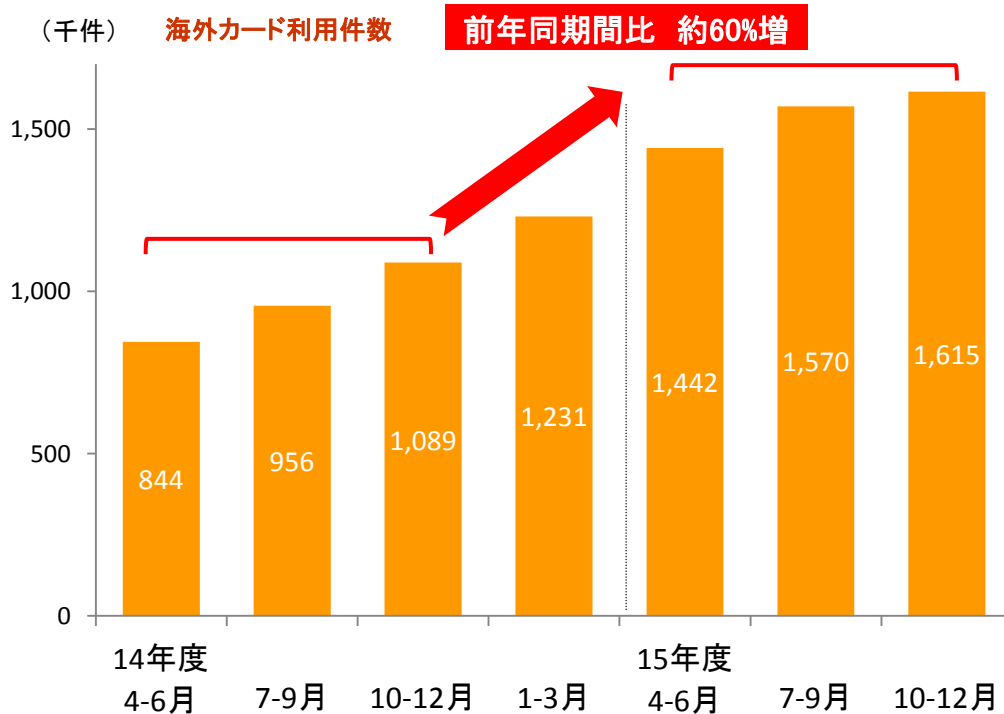
・2015年度もATM取引を中心に送金件数は順調に増加

海外カード利用件数は継続し大幅増加

・2015年12月より、海外発行カード利用時のATM画面表示等(ATM画面、明細票、ATM音声)を12言語対応

* 第2世代ATMは除く

・海外からのお客さまにも、より便利で安心してお使いいただけるATMへ



[英語・韓国語・中国語(簡体字)・ポルトガル語]

《8言語追加》 ↓

[中国語(繁体字)、タイ語、マレーシア語、インドネシア語、ベトナム語、フランス語、ドイツ語、日本語]



海外子会社(アメリカ)

■社名 FCTI, Inc.

(単位:百万米ドル)

主要計数	2014年 第3四半期 1~9月	2015年 第3四半期 1~9月	2015年度 計画 (11月6日時点)
経常収益	60.2	59.4	77.8
経常費用	58.6	60.4	78.9
経常利益	1.5	△0.9	△1.0
純利益	0.7	△0.8	△0.9
EBITDA	6.2	3.9	5.5
ATM台数(台)	6,475	6,375	6,400

注1) 計数は全て表示単位未満切捨て
 注2) EBITDA=経常利益+減価償却費
 注3) ATM台数はカナダ含
 注4) 2015年12月末のATM台数は6,625台

・ICカード対応の先行投資や7-Eleven, Inc.への設置準備等により前年同期間比で経常費用が増加



海外子会社(インドネシア)

■社名 ATMi (PT.ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONAL)
 名称: アバディ タンバ ムリア インターナショナル

・2015年12月末でのATM設置は49台



国内子会社

■社名 株式会社バンク・ビジネスファクトリー
 (BBF: Bank Business Factory)

・2015年12月末での外部事務受託は4社

方針

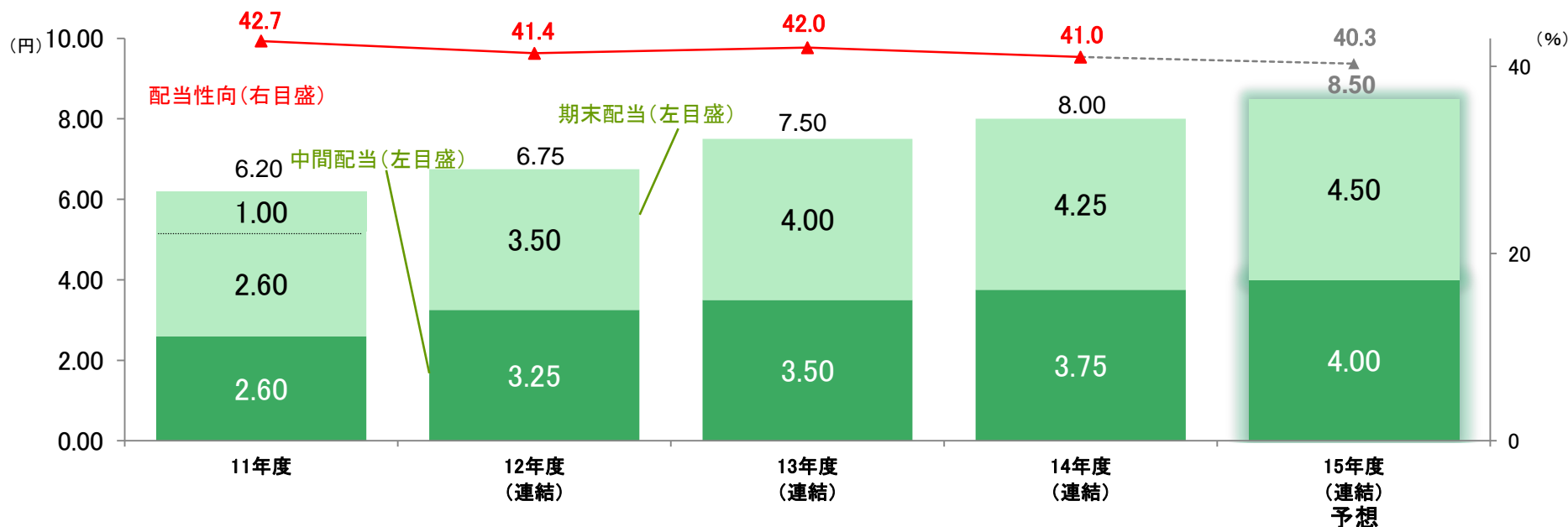
継続的な安定配当の実現を目指し、連結配当性向は年間35%を最低目標に、年2回配当を実施

期末配当予想の修正

配当金額 : 1株当り4.50円(配当総額約53億円)

期末配当予想を従来の4.00円より4.50円(年間8.50円)に修正

配当金、配当性向の推移



注1) 2011年12月1日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を実施しており、上表は、過去の配当についてもこの分割を反映して計算したもの

注2) 2011年度は期末配当に1.00円の東証上場記念配を上乗せ

注3) 2012年度以降は連結決算

本資料には、株式会社セブン銀行、及びその連結子会社の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATM事業及び金融サービス事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社、及びその子会社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。